

## 平成 24 年度森林の活動体験教室 / 伊賀市立花之木小学校 2 報告

作成：平成 24 年 2 月 8 日 大杉谷自然学校

1. ねらい 椎茸の菌打ち体験を通して、キノコの生態、森での役割などを学習し、森の恵みと人との関わりを考える機会とする。また、地域の産業について知る。
2. 対象 伊賀市立花之木小学校 4 年生 12 名
3. 日時 平成 13 年 2 月 8 日 (金) 10:40 - 12:15
4. 場所 花之木小学校 グラウンド、学校林
5. 講師 椎茸栽培：廣島昭郎氏、大杉谷自然学校 2 名
6. スケジュール

時間	内容	場所 / 備考
10:40-11:00	自己紹介 キノコの話	4 年生教室
11:00-12:05	椎茸の菌打ち体験(グループ毎に活動) ・ ドリルで穴を空けコマ菌を打つ ・ ほだ木を学校林に運んで伏せる	学校林
12:05-12:15	質問タイム ・ ふりかえり ・ まとめ	

### 7. 活動写真



ドリルで原木に穴を空け、木槌でコマ菌を穴に打ち込んだ。先生の話真剣に聞きながら、一生懸命取り組んだ。

### 8. 反省・意見など

- ・ キノコの生態や森での役割についてパウチを作って説明した。「椎茸の菌打ちが楽しかった」で終わらない学習の場にするには、目で見えない側面を伝える事が大切である。
- ・ 地元講師の方をお願いする場合、側面を伝える役割は先生が担うか、講師が勉強して担う必要がある。しかし、それぞれの関心や力量によるところが大きく影響する。
- ・ 時間的には 2 時限の授業時間で完成されたプログラムを実施する事ができた。
- ・ 花之木小学校は学校林があり、体験学習を行うには恵まれた環境がある。しかし、統合により廃校になることが決まっている。
- ・ 学習を継続するには先生の興味や熱意が重要。移動と共に授業が終わらないよう、学校を訪問した際には他の先生方への声かけ等も行う必要がある。